

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ガーデンシュレッダー SGS-270A		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所 店名	☎ ()		

(注) 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

P17修正 No.5~

ガーデンシュレッダー SGS-270A

取扱説明書




このたびはガーデンシュレッダーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。


SHINKO 株式会社 新興製作所


〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれの次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

警告

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・ 作業中、本機に取りつける工具の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・ 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・ 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生することがあります。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・ 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、作業場の近くには置かないで下さい。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・ 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
 - ・ 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
 - ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で本機を改造したりしないでください。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部(工具の作動部)には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具(のこ刃等)の交換等のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず電源プラグを抜いてください。
 - ・スイッチ、電源プラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - ・コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

注前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

使用上のご注意

⚠ 警告

- ・本機の電源は**100V、15A**のものをご使用ください。
間違って200Vに接続しますとモーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり、大変危険です。
- ・アースのクリップが差し込みプラグのところに付いていますのでご使用前に**アースを接地してください**。本機に異常なことが発生したとき、感電の恐れがあり危険です。
- ・本機が輸送途上において、衝撃等により破損することがありますので**組立前に各部をご確認ください**。破損のままご使用になりますと思わぬ事故の原因となります。
- ・ご使用前に**電源コード、プラグを点検してください**。電源コード、プラグを傷んだままご使用になりますと、やけど、感電、火災の恐れがあり危険です。
- ・本機は**雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください**。感電の恐れがあり危険です。又、平らな場所に設置してください。
- ・本機を使用するときは、**周囲に人を寄せつけないでください**。処理物が周囲に飛んだとき、けがの恐れがあり危険です。
- ・作業者は**長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください**。処理物が飛散したとき事故の原因となります。
- ・作業中に処理物がつまったときや、刃を清掃するため本体(刃物カバー)を開くときは**スイッチを切り、電源プラグを抜いてからおこなってください**。スイッチを入れ、電源プラグを差し込んだまま刃物カバーを開きますと、突然回転して思わぬ事故の原因となります。
- ・本体(刃物カバー)締め付けネジの先端に、**モーターの安全スイッチ**がついています。この締め付けネジを**確実に締め付けると安全スイッチがON**となり、締め付けネジを抜くとスイッチはOFFとなり回転しません。**本体カバー締め付けネジ穴には処理物や棒を差し込まないでください**。
- ・作業前に本機からスパナ、六角レンチ等は必ず取り除いてください。工具を付けたまま回転させますと思わぬけがの原因となります。
- ・点検、修理、清掃のときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。事故の原因となります。
- ・本機には、金属、石、プラスチック等は投入しないでください。刃先を傷めるだけでなく、故障の原因となります。

部品の名称



図1

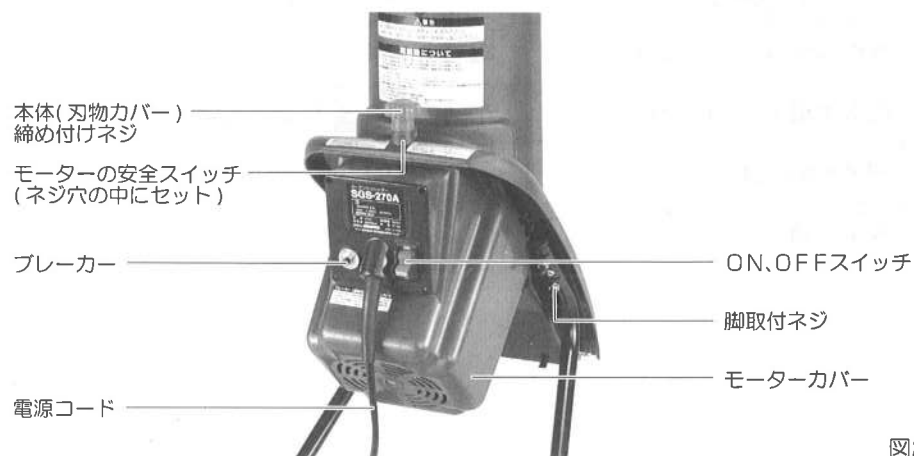








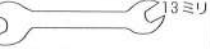
図2

仕様明細

形 式 名	SGS-270A
電 圧	100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	1,300W
電 流	13.5A
無 負 荷 回 転 数	2,900/3,500min ⁻¹
定 格 時 間	30分
最 大 粉 碎 能 力	生木の小枝で最大径27mm
コ ー ド の 長 さ	5m
本 体 寸 法	巾470×奥行510×高さ1,005mm
重 量	22kg

改良のため予告なしで仕様を変更することがあります。

部品の明細

投入皿	1	タイヤ固定用ナット(φ10)		2
投入皿固定ネジ(φ5) ワッシャ付	4	タイヤ固定用ワッシャ(φ10)		2
左 脚 A	1	タイヤキャップ		2
右 脚 B	1	タイヤ		2
脚取付ネジ(φ8)	4	小枝用押込棒		1
脚取付用ワッシャ(φ8)	4	葉用押込棒		1
脚取付用ナット(φ8)	4	六角レンチ 刃物交換・脚止め用		1
タイヤ軸受棒	1	スパナ 16ミリ		1
タイヤ軸ブッシュ	2			

組立方法

■脚の組立方法

- ・本体(刃物カバー)締め付けネジをゆるめて、本体(刃物カバー)を開けてください。
- ・脚には**左脚**と**右脚**があります。**逆にしますと組立ができません。**
- ・脚**(A)**の取付部と脚の取付穴のところに**(A)**の表示がついています。(図3参照)
- ・脚の切り口をモーター方向に向け、脚取付部の穴**(A)**と脚の穴**(A)**を重ねて脚の取付ネジ(φ8)を刃物側から差し込み、ワッシャを入れて、ナットで締め付けてください。(図3参照)
- ・六角ナットをスパナで固定して、六角レンチをネジの頭に差し込み、確実に締め付けてください。(図3参照)
- ・脚**(B)**は先に**タイヤ軸受棒**を**(A)**と**(B)**の脚に差し込んでから脚を取り付けてください。
- ・取付方法は**(A)**と同じ方法で取付けをしてください。(図4参照)

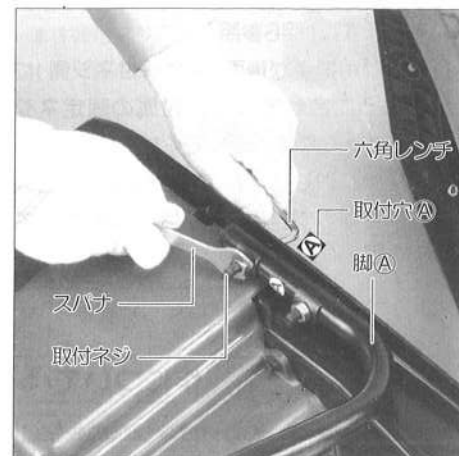


図3

■タイヤの取付方法

- ・タイヤをセットする前に**タイヤ軸ブッシュ**を差し込んでください。(図5参照)
- ・次に**タイヤ**を差し込み、**タイヤ固定用ワッシャ**を入れて、六角ナットで確実に締め付けてください。(図5参照)
- ・タイヤのセットが終了したら、**タイヤキャップ**を押し込んでください。

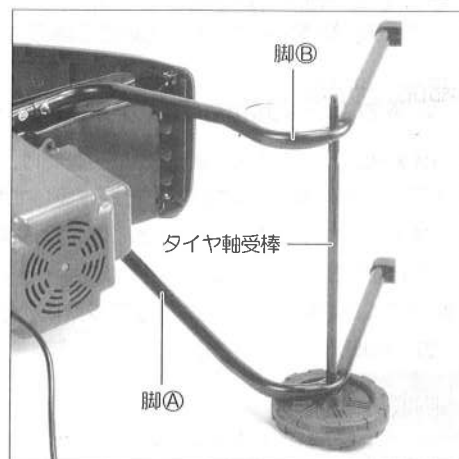


図4

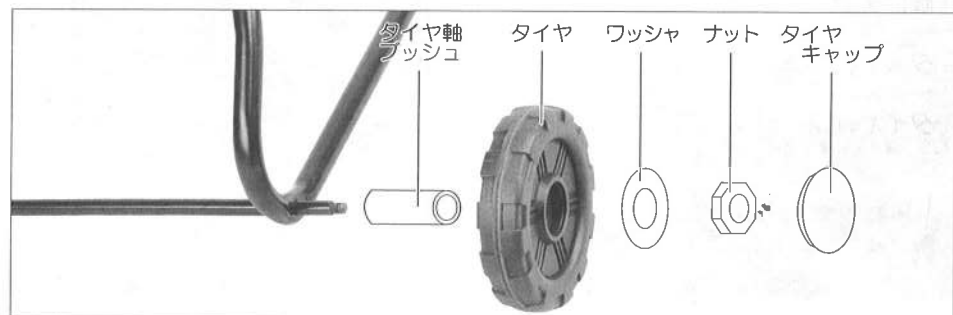


図5

■投入皿の組立方法

- ・本体と投入皿の側面に固定用のネジ穴がついています。(図6参照)
- ・持ち運び用把手が後面(本体締付ネジ側)になるように合せてから、付属の固定ネジ(φ5)で確実に締め付けてください。

☞投入皿は、取りはずしてご使用になると大変危険です。安全のため確実に取り付けてください。



図6

安全スイッチの操作について(ネジ穴の先端にセット)

- ・本体(刃物カバー)締め付けネジ穴の先端に安全スイッチがついています。(図7参照)
- ・締め付けネジを確実に締め付けるとスイッチがONとなり、ゆるめて抜くとOFFとなってモーターは回転しません。
- ・ご使用前に締め付けネジが確実に締まっていることをご確認ください。

本体カバーの開閉のしかたについて

- ・本体締め付けネジをゆるめてカバーを開け、閉めるときは、**支え板中間部を後方向(回転プレート側)に折れていることを確認してから閉めてください。**(図8参照)

☞本体締め付けネジを締めるときは、**投入皿後部把手を押え付けて締め付けてください。**

☞本体(刃物カバー)を開けるときはON・OFFスイッチを切り、電源プラグを抜いてから開けてください。又、締め付けネジ穴に処理物や棒等を入れないでください。突然回転してケガの原因となります。



図7

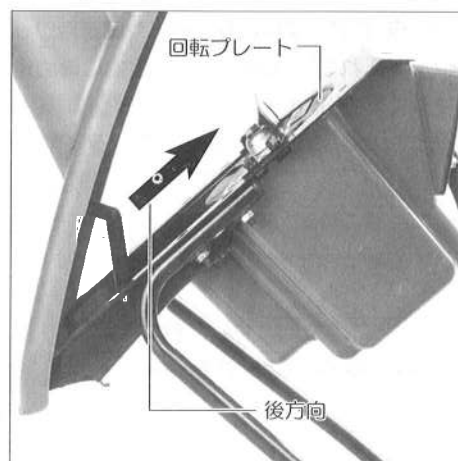


図8

ブレーカーとON、OFFスイッチの操作並びに再起動について

- ・後面のモーターカバーの上にON、OFFスイッチとブレーカーがついています。(図9参照)
- ・作業中に回転プレートや刃に処理物が多量に付着したとき、粉碎能力を超えた太い枝(約28ミリ以上)を差し込んだとき、能力を超えて粉碎物を押し込んだとき等はモーターの過電流保護のため**ブレーカーが作動してモーターが停止します。**

・再起動の方法

- ①スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②本体(刃物カバー)を開けて回転プレート等に付着している処理物を取り除いてください。
- ③本体(刃物カバー)を閉めて**本体締付ネジ**を確実に締め付けてください。(図9参照)
- ④電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑤**スイッチをON**にしてください。
- ⑥**ブレーカーのボタンを一回押すと復帰します。**

上記方法で再起動しないときは、再度ご確認の上、最初からやり直してください。それでも回転しないときは、当社までご連絡ください。



図9

刃の取りかえ

☞刃物を交換するときは、**スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。**突然回転してケガの原因となります。

☞刃物取付ネジをゆるめるとき、締めるときや、回転プレートを固定するときには、六角レンチ又は丸棒を処理物受け金具の左又は右に当て、回転プレート切り込み口に差し込み回転プレートの動きを止めてください。**空転したとき刃が直接手に触れま**すと大変危険です。手袋をして刃を布等で覆っておくと安全です。

(図10参照)

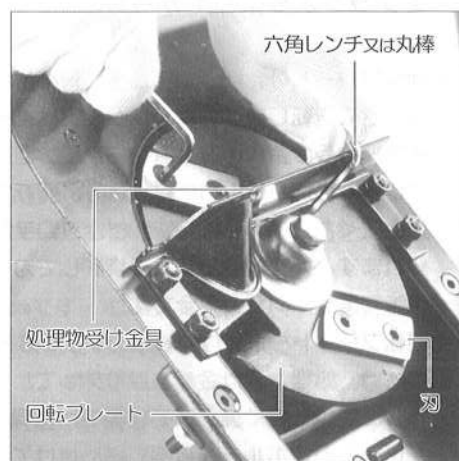



図10

- ・刃物を取りかえるときは、刃物の押えネジを六角レンチで左に回してください。締めるときは右に回して確実に締め付けてください。(図10参照)
- ・刃物は2面についていますので、反対に向けるともう一度使用できます。
- ・刃先が摩耗したときは、砥石、または電動刃物とき機で刃ときをしてください。刃は両面についていますので、片方の刃は厚いゴム、布等で覆って安全に保持できるようにしてから刃ときをしてください。安易な作業をしますと思わぬケガの原因となります。刃とき機については販売店にご相談ください。

刃ときの方法

- ・角度のついている面をとぐときは、直線になるようにといってください。丸くなると刃物は切れません。
- 
- ・裏面をとぐときは刃の返りをとぐだけにしてください。(砥石の面に平らにあてて軽くといってください。)
 - ・刃ときが終了したら、最後に仕上砥石で仕上げてください。刃物ときについて詳細は最寄りの刃物とき店にご相談ください。
 - ・替刃(ガーデンシュレッダー替刃 GS-60A)をご用命の節は販売店にご相談ください。

回転プレートの取りかえ

- ・通常は回転プレートの取りはずし、締めつけの必要はありません。

注回転プレートを取りはずしたり、取り付けるときは、スイッチを切り、電源コードをプラグより抜いてからおこなってください。

注回転プレートは、ゆるめるとき、締め付けるときに空転します。六角レンチ又は丸棒を処理物受け金具の左又は右に当て、回転プレートの切り込み口に差し込み、回転を止めてください。(空転したとき刃に手が触れますと大変危険です。手袋をして刃を布等で覆っておくと安全です。)

- ・回転プレートの取りはずしは、中心にある固定ボルトをスパナ・レンチ等で左に回してください。処理物受け金具を取り外して、プレートを取り替えます。取り付けは、ボルトを右に回して軽く締め、処理物受け金具を確実に締め付けてから、回転プレートの動きを止めて固定ボルトを確実に締め付けてください。(回転プレートの固定ボルトには空転防止のワッシャがついています。必ず固定ボルトの下に入れてください。)(図11参照)

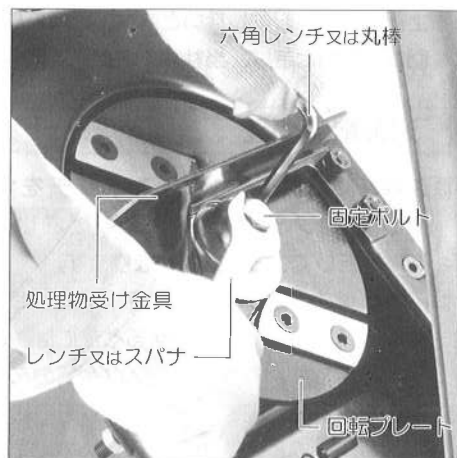


図11

作業方法について

- ・電源はAC100V、15Aのものをご使用下さい。
- ・1つのコンセントで2~3の電気器具を同時に使用したり、延長コードを使用したりしますと、電気容量が不足して正常に回転しないことがあります。
- ・電源が離れていて延長コードを使用するときは、本機を最高の能率でご使用いただくため、十分な太さのコードをできるだけ長くご使用下さい。細いコードを長くしてご使用になりますと、高温になり危険です。
- ・使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ (公称導体断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

- ・ご使用前に本機の内部に工具(スパナ・レンチ等)が置いていないかご確認ください。
- ・本機は本体(刃物カバー)締め付けネジが確実に締まっていないときは回転しませんので必ず締めてからご使用下さい。
- ・本機の電源プラグを差し込み、スイッチを入れても回転しないときは、ブレーカーのボタンを一回押してください。

- ・作業前に排出口にポリ袋等を付けておくと、処理物の回収が簡単です。
- ・スイッチをONにしてモーターが正常に回転している事を確認してから粉砕物を入れてください。
- ・処理物(小枝)の最大径は軟らかい生小枝で約27mmです。太い枝はC型穴(後面から見て右側の穴)に投入、葉、枝の先端は□穴に投入してください。(図12・13参照)
- ・本機の粉砕は吸い込むように設計してあります。軽く押し込むように投入してください。モーターの回転が下がるような場合は投入過ぎです。処理物を少し引いて、正常な回転になってから差し込んでください。



図12



図13



Ⓔ太い枝を強く押し込むとモーターの過電流保護ブレーカーが作動して回転が停止します。(ブレーカーが作動したときの操作については9ページのブレーカーの項をご参照ください。)

・水分を含んだ野菜や果実を投入しますと内部に付着して回転が停止することがありますので、少し乾燥させてから粉碎してください。

・作業中、処理物が短くなったときは、手で押し込まず、**押込棒**をご使用下さい。

(図13参照)

Ⓕ作業中は、投入皿、排出口の中には**絶対に手を入れない**でください。重大な事故につながる恐れがあります。

・処理物が短くなりましたら、押込棒をご使用下さい。短い小枝のとき 型の押し込み棒。葉のような細かいものは 型の押し込み棒をご使用下さい。

Ⓖ本機の投入皿を取りはずして使用しないでください。ケガの原因となります。

Ⓖ本機には**金属、石、プラスチック等は投入しないで**ください。刃先を傷めるだけでなく、故障の原因となります。

Ⓖ本機を改造したり、目的外の使用は**絶対におやめ**ください。重大な事故の原因となります。

保守、点検について

- ・作業が終了したらスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。
- ・本機の内部に付着している処理物を取り除き、清掃して、刃部に防錆油(機械油)を塗布してください。
- ・保管は、お子様の手の届かない湿気の少ない場所に保管してください。
- ・本機についてのお問い合わせ、修理等につきましては販売店または当社までご連絡ください。